

2024

6月号
Vol.99

担い手 サポートセンター 通信



写真上：JAなすの トマト農家 藤本竜也さん
写真下：JAかみつか いちご農家 坂本成聡さん

CONTENTS

サポートセンター情報	頑張る担い手インタビュー!!	2	生産振興情報	ジュース用トマト機械栽培者募集	10
中央会情報	乗用型トラクターの転落・転倒対策	4	園芸情報	とちぎの野菜	11
中央会情報	これからの農作業は熱中症に注意	5	肥料情報	とちあいか専用 BB 基肥肥料	12
サポートセンター情報	熱中症対策に水分補給を!	6	農業機械情報	共同購入コンバイン	14
サポートセンター情報	営農・経済担当者研修会を開催しました	7	生活情報	商品紹介 涼かちゃん	15
米麦情報	水稻高温登熟障害軽減対策	8	野生を食べる／編集後記		16
米麦情報	水田での大豆の本作化に取り組んでみませんか	9			

頑張る担い手インタビュー!!

- ▶ お名前（年齢）：藤本 竜也さん（49）
- ▶ 品 種（面積）：トマト（66a）
麗妃、TTM-179,177（試験導入）
- ▶ 就農年数：29年



本日はJAなすの管内でトマトの栽培に取り組む藤本竜也さんをご紹介します。

▶ 就農までの経緯を教えてください。

両親がトマトの栽培をされており、いずれは就農したいという思いがありました。進学先の農業大学校で、同じ志の同期と繋がりができたことが大きなきっかけになり、卒業と同時に就農を決意しました。

▶ 現在の経営について教えてください。

自分と両親の3人で経営をしています。冬春の栽培をメインにしていたのですが、効率的に収穫・管理作業を行うために3,4年前から周年栽培に切り替えました。それまでは冬場の収穫に追われていたのですが、収穫と管理作業をバランス良く行うことができるようになりました。近年は暑さ対策も課題になっているので、遮光カーテンや循環扇、ファン付きの冷却ベストなどを取り入れて作業環境や品質への対策をしています。



▶ 栽培のこだわり・モチベーションは何ですか。

早め早めに仕事を終わらせて、何かあった時のために作業を後手に回さないことを意識しています。モチベーションは家族の存在です。娘が生まれてからは、農作業を終えて家に帰ることが楽しみになりました。

▶ 今後の目標について教えてください。

トマトの栽培では、病害虫をいかに減らすかが重要になってきます。黄化葉巻病・コナジラミなど、ヘタをすると作物が全滅になりかねないので病害虫の早期発見・早期防除に努め、より品質のいいモノを作っていきたいです。

ご家族について嬉しそうにお話されていたのが印象的でした。本日はお忙しい中、ありがとうございました。

頑張る担い手インタビュー!!

- ▶ お名前：坂本 成聴さん (32)
- 品 種：とちあいか (18a)
- 就農年数：4年目



本日はJAかみつが管内でいちごの生産に取り組んでいる坂本成聴さんをご紹介します。

▶ 就農までの経緯を教えてください。

家族経営できる仕事をしたいと考えていて、いくつかの選択肢の中に農業がありました。鹿沼で新規就農研修生を募集しているネット記事を見つけ、研修制度等が充実しているいちごの栽培に興味を持ちました。埼玉県から移住し、鹿沼市の「出会いの森いちご園」で3期生として2年間いちごの栽培について研修を受けました。そのなかで出会った先輩方やパートさんとは現在も繋がりがあがり相談しやすい環境にあります。

▶ いちご栽培をするなかでこだわったところを教えてください。

母と一緒にいちごの栽培を行おうと考えていたので、土耕栽培ではなく高設栽培にすることにこだわりました。その分設備投資は大きくなりましたが、11月から5月くらいまで毎日収穫があるなかで腰の負担は軽減されているので高設栽培にして良かったと感じています。ただ、研修施設や周りのいちご農家さんでは土耕栽培が多かったので高設栽培の適切な液肥の回数や量などを見つけるのが難しかったです。



▶ 農業の魅力を教えてください。

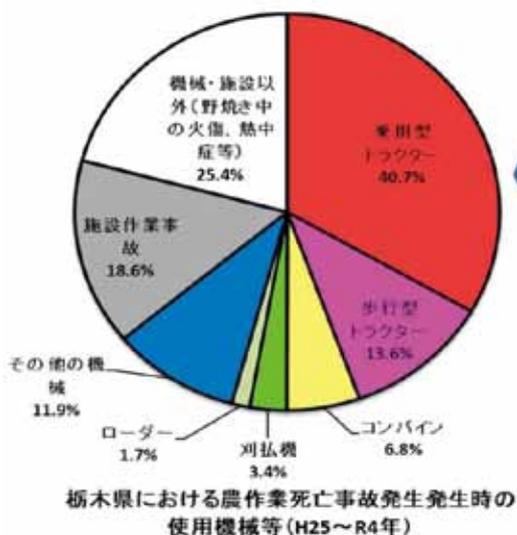
自分のペースで自由に働けることが魅力だと思います。忙しく大変な面も多くありますが、家族で愚痴をいいながらも働けている環境が良いと感じています。友達や家族に「おいしい」と食べてもらえるのもモチベーションになっています。

▶ 今後の目標を教えてください。

現在の栽培面積を維持しつつ、病害虫の防除などに力を入れることでロスを減らし単収を増やしていきたいです。

ご家族の仲がとても良いのが伝わってくる素敵な農家さんでした。本日はありがとうございました。

乗用型トラクターの転落・転倒対策!



死亡事故は、乗用型トラクターによる作業中に最も多く発生しており、その主な状況は「転落・転倒」です。

～安全対策のポイント～

【事故防止対策】

①ほ場周辺の危険箇所の確認、危険箇所での減速、危険箇所の迂回の実践

【事故防止対策】

②危険箇所の改善(道路端や曲がり角の草刈り、路肩の補強等)



傾斜した道路の簡易舗装

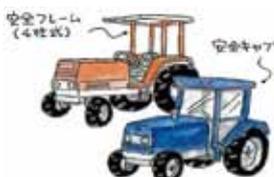


- ・路肩等がわかりやすいようい草刈りを実施
- ・危険箇所に目印としてポールを立てておくことも有効

【転落・転倒してしまった場合の被害軽減対策】

③シートベルトとヘルメットの着用

④フレーム付きトラクターの利用



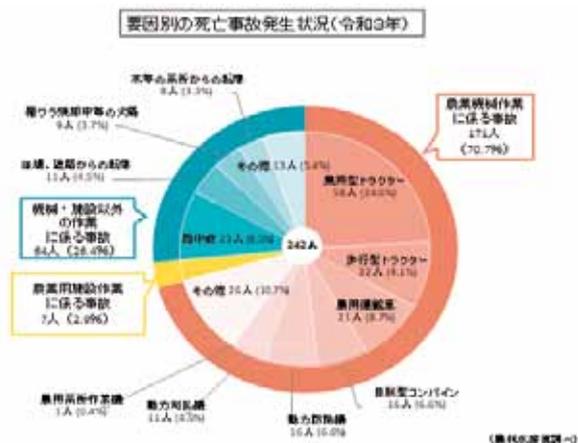
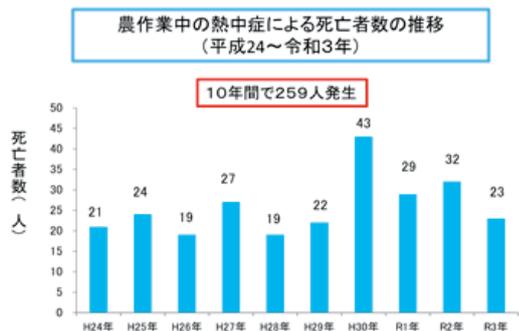
転落・転倒時に、安全キャブ・フレームは安全域を確保してくれます



出典:農林水産省Webサイト

これからの農作業は熱中症に注意！

農作業中の熱中症による死者数が、増加しています！
農作業を行うときは「熱中症対策」をしっかりと行い、命を守る行動を行いましょう！



基本的な熱中症対策

- 作業は気温の高い時間帯を外す
- 作業前・作業中の水分・塩分補給、こまめな休憩
 - ☀️ のどが乾いてなくても20分おきに休憩と水分補給
 - ☀️ 塩分摂取（スポーツ飲料、塩分補給用タブレットも可）
- 熱中症予防グッズの活用
 - ☀️ 屋外では帽子、吸汗速乾性素材の衣服、屋内では送風機やスポットクーラーなど
- 単独作業を避ける
 - ☀️ 作業は2人以上で行うか、時間を決めて声かけ

農作業中のマスクの着用によって熱中症のリスクが高くなるおそれがあることが指摘されています。屋外やハウスで人と十分な距離（2m以上）が確保できる場合は、マスクをはずしましょう。

農作業前に対策の確認を！

農作業中の熱中症対策チェック

- 高温時の作業は、避けましょう**
特に30度以上の日は、灼熱感やめまいや吐き気の上昇を感じやすくなります。日中の気温の高い時間帯は外して作業しましょう。
- 単独作業は、避けましょう**
なるべく2人以上で作業し、時間を決めて声をかけあったり、異常がないか確認しあうようにしましょう。
- 20分おきに休憩＆水分補給しましょう**
暑い日陰などで作業着を脱ぎ、体温を下げましょう。のどがかわいていなくても、20分おきに毎回コップ1〜2杯以上を確実に水分補給しましょう。
- 適宜マスクをはずしましょう**
屋外やハウスで人と十分な距離がなくても3m以上が確保できる場合はマスクをはずすようにしましょう。

万が一に備えて、携帯電話を持って行きましょう。
緊急連絡先や大切な人の連絡先も、登録しておきましょう。

MAFFアプリでは、登録された地域に熱中症警戒アラートが発表された場合、当日の朝にアラートが通知される機能が付加されています！

登録はこちらから→



←Android



iOS→

熱中症対策に 水分・電解質(イオン) 補給を!!



注意

高齢農業者が
熱中症になりやすい理由



発汗量が多い

体内の塩分の損失量が多い

喉が渇くと感じず
水分・塩分補給しない

体内の水分量が減る

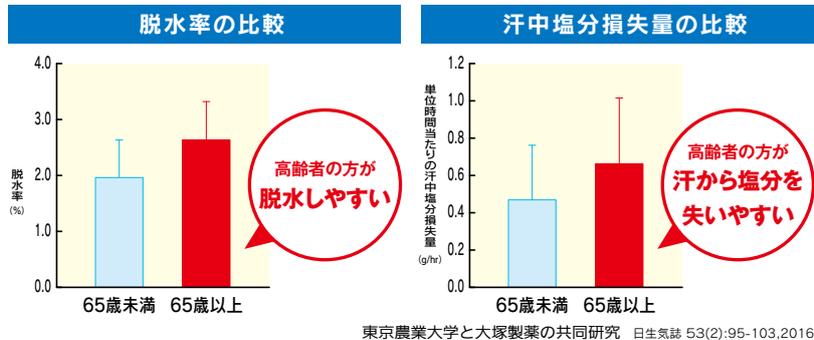
体温が上昇

熱中症



高齢農業者は発汗量が多く脱水しやすい!

夏場のハウス栽培作業時における農業者の汗のかき方を調査しました



水分補給時のポイント

汗で失う水分・塩分を補うため、喉の渇きを感じる前から塩分を含む飲料をこまめに飲みましょう。

特に65歳以上の高齢農業者は発汗量が多く、汗から塩分も多く失われるため多めに補給することが必要です。

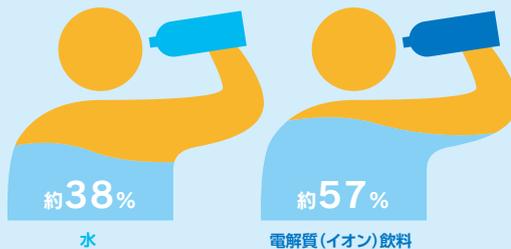
1時間で500ml
ペットボトル
1.5本程度

熱中症対策に水分・電解質(イオン)補給を

発汗時の水分補給には電解質(イオン)バランスのとれた飲料が効率よくカラダに吸収され、長時間カラダをうるおしてくれます。

飲料別体内キープ力比較

飲んだ後、2時間座り続けた間、飲んだ量のうちカラダに残った割合。



データ:Doi T. et al.: Aviat Space Environ Med(2004)を改変



制作協力：大塚製薬株式会社



営農・経済担当者人材育成研修会
～スマート農業研修会の開催～



営農・経済担当者人材育成研修会～スマート農業～を開催しました。

2024年5月29日（水）スマート農業の普及・理解促進を目的としてJAうつのみや管内の圃場でザルビオフィールドマネージャーと連携した可変施肥対応田植機の実演を行いました。今回の研修会では、今春からスタートした xarvio (ザルビオ) とクボタ 営農支援システム KSAS の連携について、クボタの可変施肥対応田植機 (NW8SA) を用いて実演を行いました。今回の連携により、KSAS に登録した圃場のザルビオへの連携・ザルビオで作成した可変施肥マップの KSAS への取込みが可能になりました。



研修会には営農・経済担当者他50名が参加し、クボタアグリサービス(株)担当者より可変施肥対応田植機 (NW8SA) について、BASF ジャパン担当者より KSAS とザルビオの連携について説明をいただいた後、実際に可変施肥の実演を行いました。

参加者は、ザルビオから KSAS に取込んだ施肥マップを機械に読み込む様子や可変施肥マップに応じて肥料が繰り出される様子を田植機のモニター上で確認することができ、有意義な研修会になりました。



今後も研修会の開催を通じて営農・経済担当者のレベルアップに取り組んで参ります。

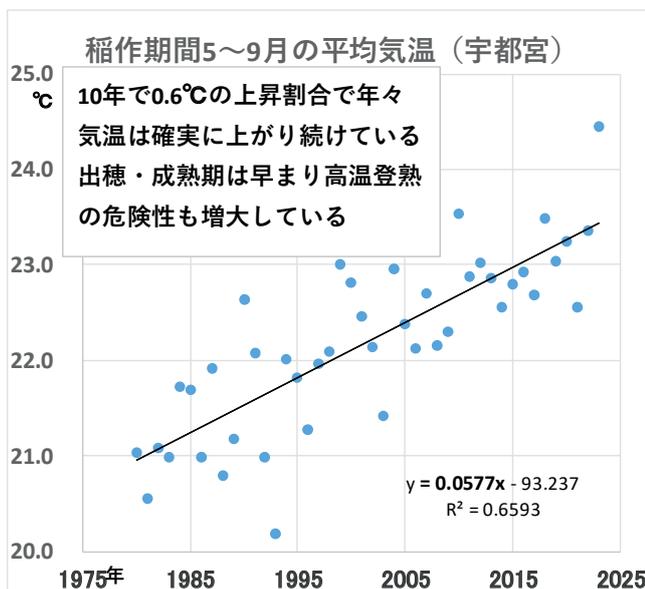
今からできる 高温登熟障害 水稻軽減対策No.2/3

地球温暖化が進み、栃木県内の気温は毎年上がり続けている！！

令和5年産米は白未熟粒(背白・基白)・胴割粒・充実不足米等の発生により、一等米比率が大幅に低下しました。気温上昇傾向が続いており、品質低下のリスクは年々高まっています。今後は常に高温を警戒した栽培管理が必要です。

栽培管理による品質向上対策に特效薬はなく、水稻栽培の全般に及ぶ様々な管理の見直しが必要となります。一つ一つの技術の効果は小さいため、それらを組み合わせることで実施していくことが大切です。

令和6年産米について各時期毎の栽培管理ポイントを3回に分けて記載し今回は2回目で田植後30日～出穂前30日頃の管理です。

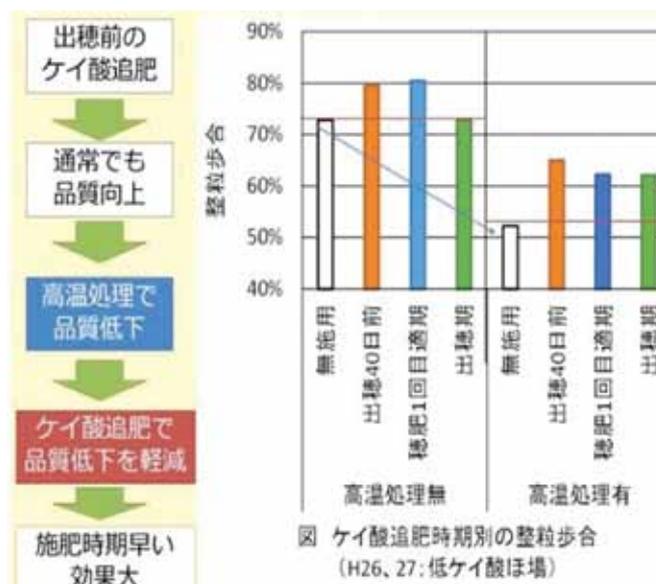


③ 水管理(太茎確保・遅発細茎分けつの抑制＝倒伏防止・登熟向上)

平年並みの気温で、活着が順調だったならば田植後30日頃まだ寂しい感じがしますが有効茎数の8割(1株穂数20本が目標なら20本×8割＝16本/株の分けつ茎)が確保されています。速やかに**間断灌水に移行(田植後30日頃)**し、無効分けつを抑制しましょう。間断灌水を始めてもすぐには分けつは抑えられないので、少し開始が遅れるとあっという間に無駄な茎が増えて**細茎・粗数過多→倒伏・登熟不良・乳白米多発**につながります。

④ケイ酸カリの中間追肥

出穂前40日前後頃(節間伸長開始直前): 早植コシヒカリ7月末頃出穂予定なら6月20日頃にケイ酸カリ(30kg/10a)又は塩化カリ(10kg/10a)を施用し、根の活性化を図りましょう。土壌にケイ酸が少ないと、根の給水力が低下し、葉からの水分の蒸散(人という汗をかき作用)が低下し、葉温(人間の体温)が上昇します。それがストレスとなり、品質が低下します。土壌にケイ酸が多いと、蒸散量が増加して、葉温があまり上がらず、品質低下が抑制されます。



ケイ酸カリの中間追肥により出穂後の葉色が濃く推移し登熟期高温による品質低下が軽減できます。効果は、高温年ではなくても認められるので、高温予想が外れても無駄にはなりません。

(2024年3月号再掲)

水田での大豆の本作化で 収益向上に取り組んでみませんか

- 大豆は、主食用米に比べて、労働1時間あたりの収入額が高い作物です（下図）。
- 各種交付金を活用することで、主食用米を上回る収入が期待できます。
- 今後も安定した需要が見込まれ、水田経営でもメリットが大きい大豆「里のほほえみ」を栽培体系の中に取り入れてみてはいかがでしょうか。

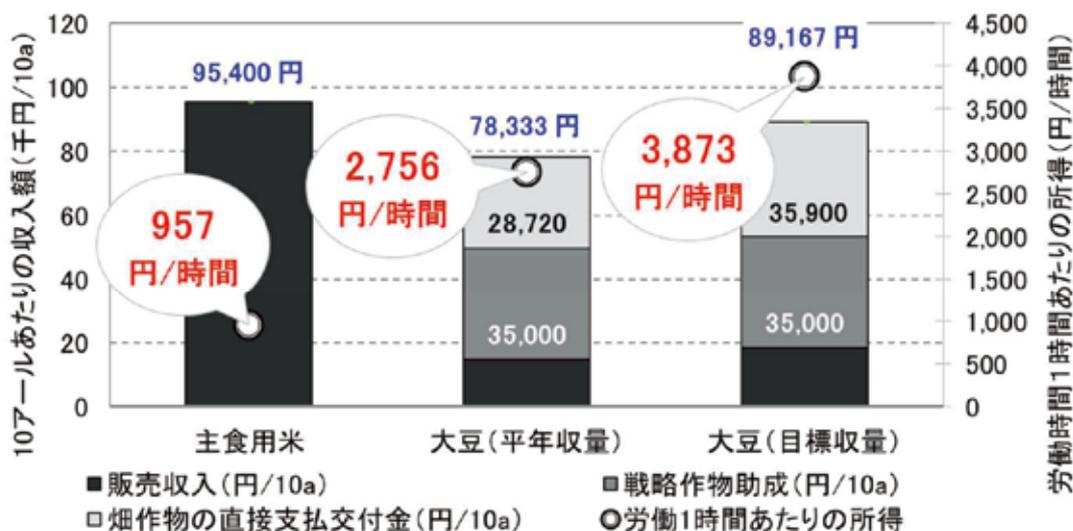


図 令和3～5年産主食用米と大豆の10アールあたりの収入比較

※主食用米はR3～R5の概算金の平均値10,600円/60kgで計算しています。
 ※水田で大豆を生産した場合は、戦略作物助成35,000円が助成されます。
 ※畑作物の直接支払交付金はR3～R5年産の1等交付単価(免税事業者向け)で算出しています。

栃木県産大豆が求められています！

むつみ 大豆契約栽培実需

**栃木県産大豆
里のほほえみ使用！**



現在、県内では約2,800トンの集荷があります。近年、栃木県産大豆を求める実需は増加しており、需要に対して供給が足りていない為、実需に対して十分な原料を渡せていない状況にあります。安定した販売につなげるためにも作付け面積の拡大にご協力をお願いいたします。

栃木県・JA全農とちぎ

ジュース用トマト機械栽培者募集

こんな方にオススメです！

- ◆ 水田転作の作物として、作付品目を探している方（※初年度推奨面積：50a～100a）
- ◆ 法人・集落営農で、夏季の労働力を有効に活用したい方
- ◆ 投資や単価変動リスクをさけて無理なく安定的に所得を確保したい方

ジュース用トマト機械栽培の特徴

- ◆ 面積契約で**全量出荷可能**（出荷規格適合品）
- ◆ **価格は事前に決定**（令和6年産販売単価：49円/kg）
- ◆ **短期間で収穫可能**（収穫能力：20a/日）



負担が少なくスタートできる体制

- ◆ **定植機・収穫機・コンテナの無償貸与**（フォークリフト必須）
- ◆ 栽培初年度は**フラグ苗を無償支給**（その他助成あり）
- ◆ **巡回指導や栽培研修会の実施**



経営収支（10aあたり）※参考

販売額：245,000円（目標単収：5t/10a）

+新規者助成 実質47,000円相当（内訳：10a助成・フラグ苗助成・農薬支給）

※ 令和5年産助成内容のため変更となる場合があります ※ 助成金の支払い時期は11月末頃の見込みです

費用：130,000円（主な経費：肥料農薬・資材代等）

※固定費・人件費を除く ※変動の可能性がございます

栽培スケジュール

時期	3月			4月			5月			6月			7月		
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
作型	仮植 育苗管理			定植			-----肥培管理・防除-----						収穫		

作業人員（※目安）

移植	2人～
定植	3人～
収穫	6～7人

募集条件

- ① 排水性の良い圃場を所有している
- ② 定植：4月上旬～中旬、収穫：7月中旬～下旬が可能な方
- ③ 作業人員の確保が可能な方

【問合せ先】 全農とちぎ 担い手支援課 TEL:028-616-8838



とちぎの
恵みをめしあがれ

とちぎ 野菜

栃木野菜消費拡大事業委員会

JA全農とちぎ / JAグループ栃木

たっちつぞとちぎ

とちあいか専用BB基肥肥料が新登場！

BB とちあいか

20kg

● 保証成分 (%)

窒素 (速：緩)	りん酸	加里	アルカリ
8 (1.4 : 6.6)	4	10	21

● 特長

- ① 緩効性窒素として(100日・180日・シグモイド160日タイプ)3種類の被覆窒素を窒素成分の80%配合しており、生育全般の窒素供給が可能となります。
- ② 被覆硝酸石灰(100日タイプ)を配合しており、生育前半の養分確保とカルシウムの供給により、チップバーン等のカルシウム欠乏症状対策の効果が期待できます。
- ③ 加里成分は、被覆(180日タイプ)由来成分40%を配合しておりますので、窒素同様に生育後半まで肥効が持続します。

● 基準施用量



基肥施用量 (kg/10a)
120~140kg (6~7袋)



※基準量は目安のため、品種・地域・栽培型により適宜加減してください。

製造 株式会社 JAグリーンとちぎ

BB 肥料から とちあいか専用追肥 登場!



NK プラス とちあいか

15kg

●成分(%)

窒素 10	りん酸 0	加里 21		けい酸 9	苦土 1
緩効性 10	—	速効性 15	緩効性 6	—	緩効性 1

●特長

- ① 窒素は全て(40日・シグモイド100日タイプ)2種類の被覆窒素成分なので、肥効が長期間持続します。また、被覆硝酸石灰を配合しており収穫期のカルシウム補給も安定して持続します。
- ② 本製品をマルチ前に追肥することで、液肥での追肥量が抑えられ、低コストにつながります。
- ③ 加里成分は、水溶性・く溶性をバランスよく配合していますので、窒素同様肥効が続きます。

※こちらの肥料は10月頃のマルチ前施肥を想定して作られています。

基肥との同時施用など、異なる使用の際にはお近くのJAにご相談ください。

●いちご栽培基準施用量 kg/10a

中後期追肥相当量
90~105kg (6~7袋)



※これは基準量ですから、品種・地域・栽培型により適宜加減してください。

製造 株式会社 JAグリーンとちぎ

共同購入 第3弾

生産者&JA

共同購入コンバイン 誕生!!

全国7千名以上の
稲作生産者の声を反映



4条刈り

48.4馬力
(ネット)

型式

YH448AEJU

メーカー希望小売価格

737万円(税込)

主な機能

- 車体水平制御

機体が左右に傾いても水平に保つ

- 常時駆動方式(FDS)

湿田作業でもなめらかな旋回と安定した直進ができる

- 自動こぎ深さ制御

- オーガ自動制御
(旋回・収納)

- 刈取オートクラッチ

- 掻きこみペダル

- 手こぎ安全装置

- オートデセル
(エンジン回転自動制御)

- 無給油で概ね1日作業
(おおよそ6時間を想定)が
おこなえる燃料タンク(43ℓ)



SIDE



BACK

お問い合わせは JA 農機センターまで

JAなすのサービス(株) 大田原農機センター TEL.0287-22-6858

JAなすのサービス(株) 黒磯農機センター TEL.0287-63-4773

JAかみつがサービス(株) 日光農機センター TEL.0288-30-1191

JAかみつがサービス(株) 鹿沼農機センター TEL.0289-75-4861

JA佐野 農業機械課 TEL.0283-61-0222

JA足利サービス(株) TEL.0284-71-1110

JA全農とちぎ はが野広域農機センター TEL.0285-83-8025

JA全農とちぎ しもつけ広域農機センター TEL.0282-29-7033

JA全農とちぎ なす南広域農機センター TEL.0287-82-0055

JA全農とちぎ おやま広域農機センター TEL.0285-38-2029

JA全農とちぎ しおのや広域農機センター TEL.028-612-3420

JA全農とちぎ うつのみや広域農機センター TEL.028-663-2651

注文いただいてから **納品まで4ヶ月程度** がかかります。
令和9年5月までにご注文をお願いします。

JAグループは生産者の需要を取りまとめ、一括発注を行うことで、メーカーは製造・流通の効率化をはかり、生産者へ価格メリットを還元します。

 JAグループ栃木 / JA全農とちぎ

紫外線・熱中症から
あなたを守ります。

炎天下でも10℃涼しい! ^{すず}涼かちゃん



WH882

迷彩テンガロンハット ネイビー



WH710/700

ハットワイドメッシュ
ブラック/ベージュ



WH881

テンガロンハット



^{すず}涼かちゃん

紫外線・熱中症からあなたを守ります。

お問い合わせ: JA全農 暮らし支援部 栃木推進課 028-616-8855

野生を食べる 171 アカメガシワ

伐採跡地などにいち早く侵入してくるパイオニア植物のひとつであるが、林縁などにはかなりの高木も見られる。春に赤い新芽がよく目立つ。赤く見えるのは赤い毛が密生しているためであり、葉が大きくなるにつれて毛の密度が薄まり、緑色に見えるようになる。雌雄異株であり、夏には枝先の円錐花序に花弁のない小さな花を多数つける。

カシワは食べ物を包んだりのせたりする「炊し葉（かしは）」の意味。サイモリバ（采盛葉）やゴサイハ（五采葉）などの方言があるのは、かつて食物を盛るのに利用した名残りと思われる。



料理メモ

葉の赤い部分を摘んで結構時間をかけて茹でてみた。写真1は油揚げとの「煮浸し」。写真2は竹輪との「辛子醤油和え」。どちらも味付けのおかげで食べることはできたが、ゴワゴワとした食感が残り旨くない。葉自体にも旨味を感じず、結論から言えばお勧めの食材ではない。ところが、「天ぷら」は違った。肉厚のもったりとした食感。香ばしさと旨味さえ感じる。結論を出すのが速かった。

(aida)



写真1



写真2



写真3

編集後記

6月号も最後までお読みいただきありがとうございます。先月は身体が暑さに慣れない中、最高気温が25度以上の夏日が何日も続きました。今後3か月の気温も高くなると予想されています。こまめな水分補給・バランスの良い食事・十分な睡眠による熱中症対策に努めましょう！（金田）



生産者のみなさまへ

LINE@

友だち募集中!

ID: @jatochisappcen

スマホで読める!

災害情報をいち早く読める!

送料情報やイベント情報までお届け!

コードを読み取るか、IDで検索

担い手サポートセンターが生産者のみなさまをLINEを通してしっかりサポート!

発行：JA全農とちぎ 担い手支援課
 TEL 028-616-8838
 FAX 028-616-8819